

保健だより

2018年3月1日（木）発行

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われます。3月は日ごと気温が高くなり、体調をくずしやすいです。そのような時期だからこそ家族みんなが健康でありたいものです。インフルエンザの流行はピークを過ぎたようですが、まだまだ油断はできません。引き続き注意が必要です。

〒252-0326 相模原市
南区新戸5195-4
サンガこども園
電話046-255-0148



予防接種は忘れずに！

3月1日～3月7日は「子ども予防接種週間」です。日本医師会、日本小児科医会、厚生労働省が主催し、2003年度から毎年実施されています。これは皆さんに予防接種について知って頂き、予防接種で防ぐことができる病気（まとめてVPDといいます）から子どもたちを守るための取り組みです。

予防接種は、感染症（人から人へうつる病気）の原因となるウイルスや細菌からワクチンを作り、それを注射などで接種します。人はウイルスや細菌におかされると、体の中に免疫（抵抗力）ができます。そして、そのウイルスや細菌に感染した記憶が体に残り、多くの場合、一生その病気にかからないですむか、かかったとしても軽い症状ですむようになります。子どもは抵抗力が弱く、感染症にかかると苦しい思いをします。又、時には命にかかわることになったり、重症で後遺症が残ったりもします。そんな感染症から子どもたちを守るためにつくられたのが予防接種です。さらに予防接種は自分の身を守るだけではなく、大流行を防いで抵抗力の弱い赤ちゃんやお年寄り、妊婦さん、病気でワクチンを受けられない人など、周りの人を守ることができるのです。予防接種には色々な種類があり、回数も多く、お忙しい親御さんには大きなご負担になりますが、お子さんのためを考えて受けさせておきましょう。



発達障害をご存知ですか！

ADHD（注意欠陥多動性障害）やLD（学習障害）などという発達障害をお聞きになったことあると思います。アメリカでは子どもの3%から5%、およそ25人から30人に1人の割合で見られ、今、子どもに最も多い障害の一つといわれています。知的障害が無い場合が多いので、「落ち着きのない子」など、育児上の問題として片付けられる場合が多いようです。



3月3日は「耳の日」

【子どもの耳の病気】

子どもの耳の病気で代表的なのが中耳炎です。ほとんどは風邪によるものです。子どもの耳は発達途中のため、セキによって鼻やのどにいる細菌やウイルスが、耳の方まで行ってしまいます。そのため中耳炎を起こしやすく、発見が遅れると悪化し、なおりにくくなります。さらに最近は薬（抗生物質）がきかない耐性菌による場合が増えています。早めに耳鼻科を受診しましょう。



1年を振り返ってみましょう。

子ども達は毎日成長、発達しています。そのペースは子ども一人一人違ってきます。他のお子さんとは比べるのではなく、毎日の生活の中でお子さんの変化を確認し、見守ることが大切です。

この1年間、健康に過ごすことはできたでしょうか。

